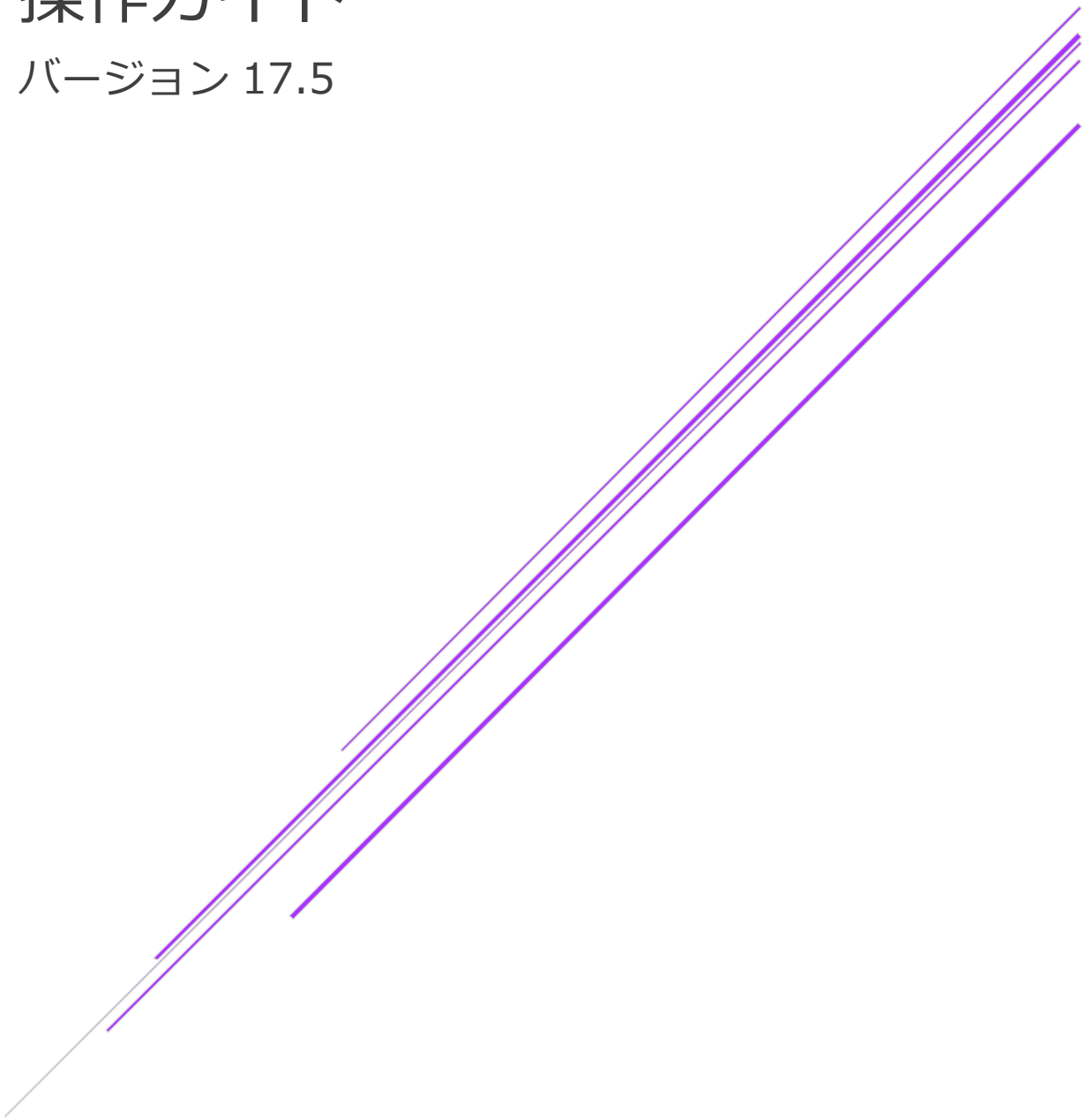


# PC プロテクションプラス 操作ガイド

バージョン 17.5



エフセキュア株式会社

## 改版履歴

履歴	リビジョン	リリース日
初版	1.0.0	2017/10/25
バージョンアップ(17.5)に伴う修正	1.2.0	2019/03/06

### ●免責事項

本書は本書執筆／更新時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時のバージョンの製品を元にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果につきまして、弊社は、如何なる責任も負わないことといたします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更することがあります。

### ●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

### ●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部または全てを複製することはできません。また、譲渡もできません。

## 目次

はじめに.....	4
<b>1. 動作環境.....</b>	<b>4</b>
1.1 対応 OS.....	4
1.2 対応ハードウェア.....	4
<b>2. 製品.....</b>	<b>5</b>
2.1 アンチウイルス.....	6
2.2 ペアレンタルコントロール.....	25

## はじめに

本書では、「PC プロテクションプラス」を利用する際の操作方法や機能等について説明します。

### 1. 動作環境

以下では、本製品の動作用件について説明いたします。

#### 1.1 対応 OS

Windows 7 SP1 (32bit/64bit) 全エディション

Windows 8.1 (32bit/64bit) 全エディション(ARM CPU は未対応)

Windows 10 (32bit/64bit) 全エディション(ARM CPU/Windows 10 S は未対応)

※ 各 OS は、最新のアップデートの適用をお願いします。

#### 1.2 対応ハードウェア

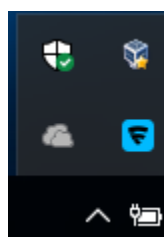
プロセッサ	Intel Pentium4 2GHz 以上
メモリ	1GB 以上(2GB 以上推奨)
ディスク	1.2GB 以上の空き容量

## 2. 製品

### 1) 製品機能

基本的にはインストール後、そのまま有効な製品となっており、特に設定等をして頂く必要はありません。自動的にパターンファイルが更新され、ウイルスから保護されます。

設定メニューやツールをご利用頂く場合は、タスクトレイの F-Secure アイコンかデスクトップのアイコンをクリックします。



### 2) 製品管理画面

- リアルタイムスキャン等のアンチウイルス機能を管理する「アンチウイルス」メニュー、「ペアレンタルコントロール」メニュー、「ツール」メニューから構成されます。



## 2.1 アンチウイルス

### 1) 「アンチウイルス」メイン画面

アンチウイルス：製品のトップ画面です。

「設定」ボタンから詳細設定画面が開けますが、通常は利用しません。



「ツール」：各ツール類の利用画面となっており、通常はこちらを利用します。



## 2) 「ツール」メニュー

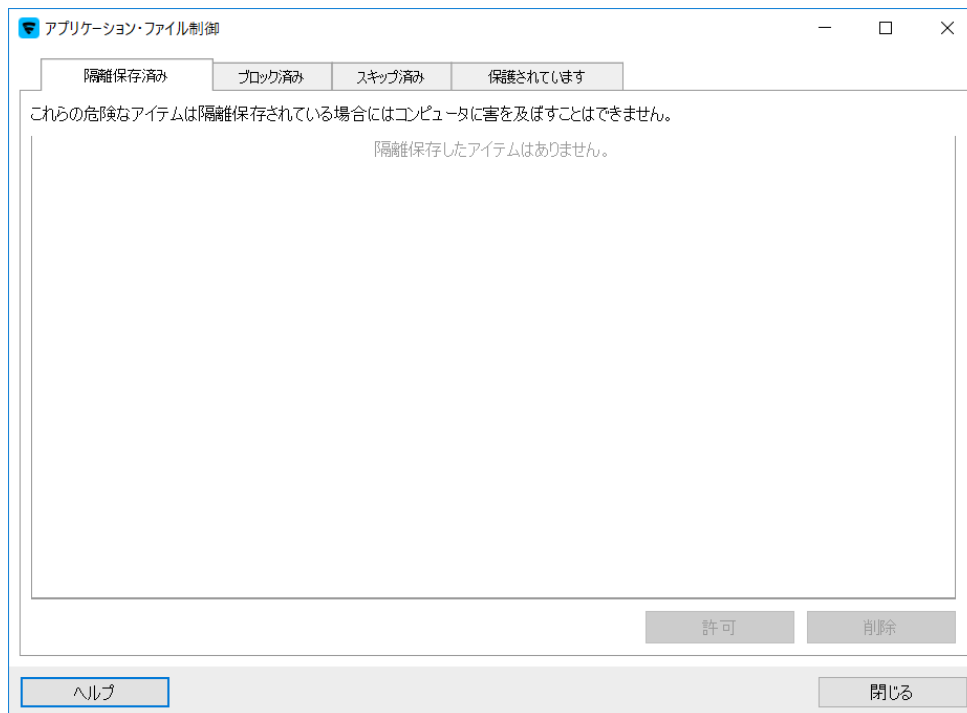


### ① ウイルススキャンのオプション

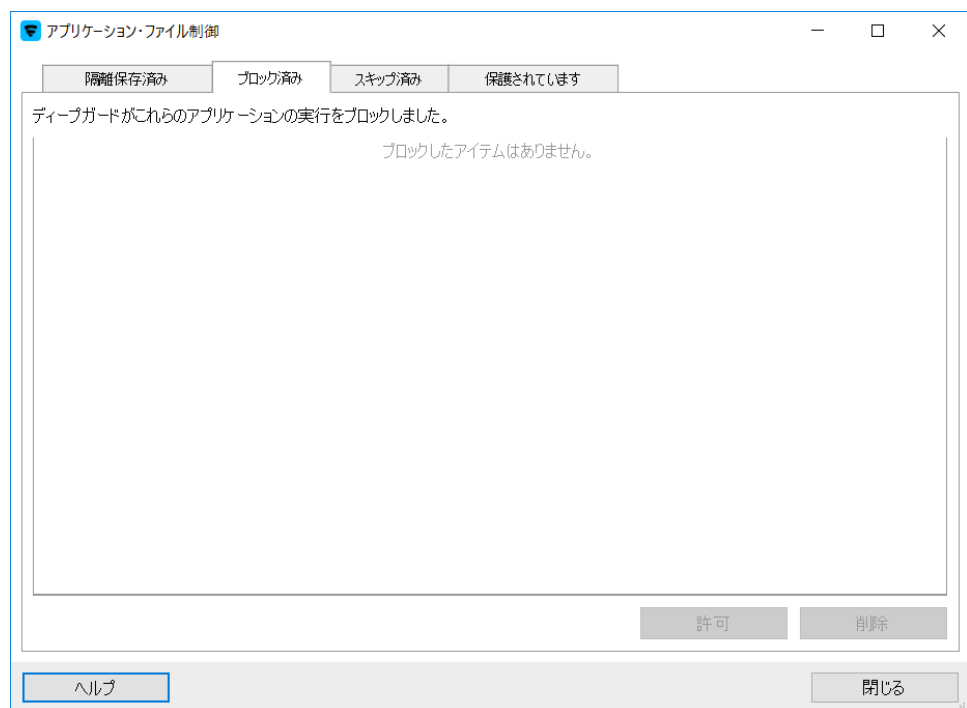


**② アプリケーション・ファイル制御：隔離保存済み**

ウイルスの検知後、隔離保存されたものが一覧で表示されます。「許可」ボタンから元の状態に復元することができます。

**③ アプリケーション・ファイル制御：ブロック済み**

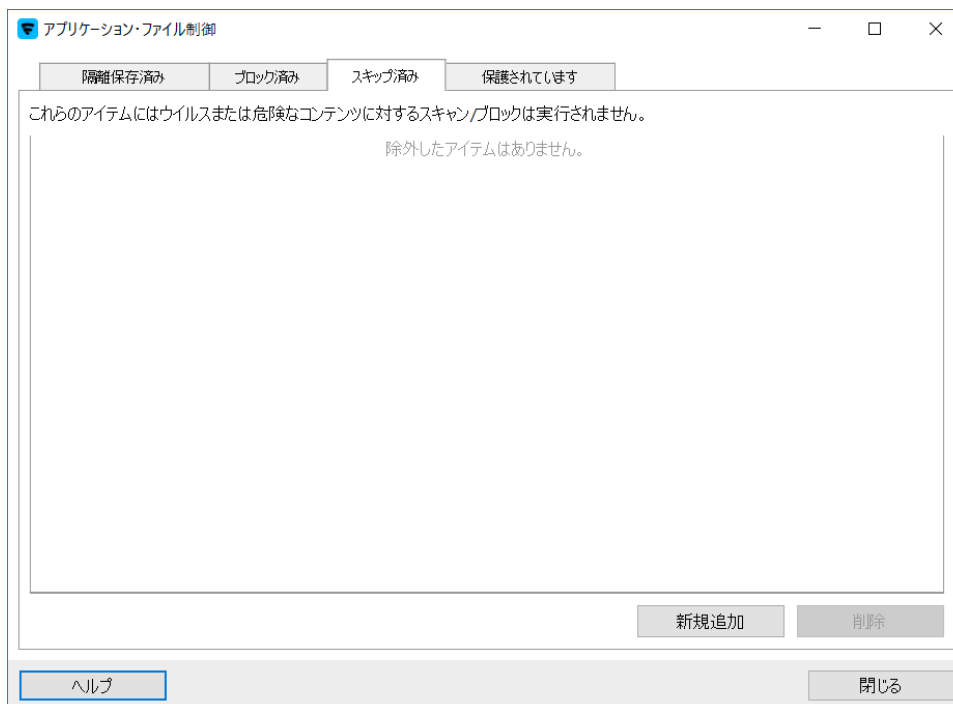
ディープガードで分析されたアプリケーションの一覧が表示されます。誤ってブロックに登録してしまったアプリケーションを許可することができます。



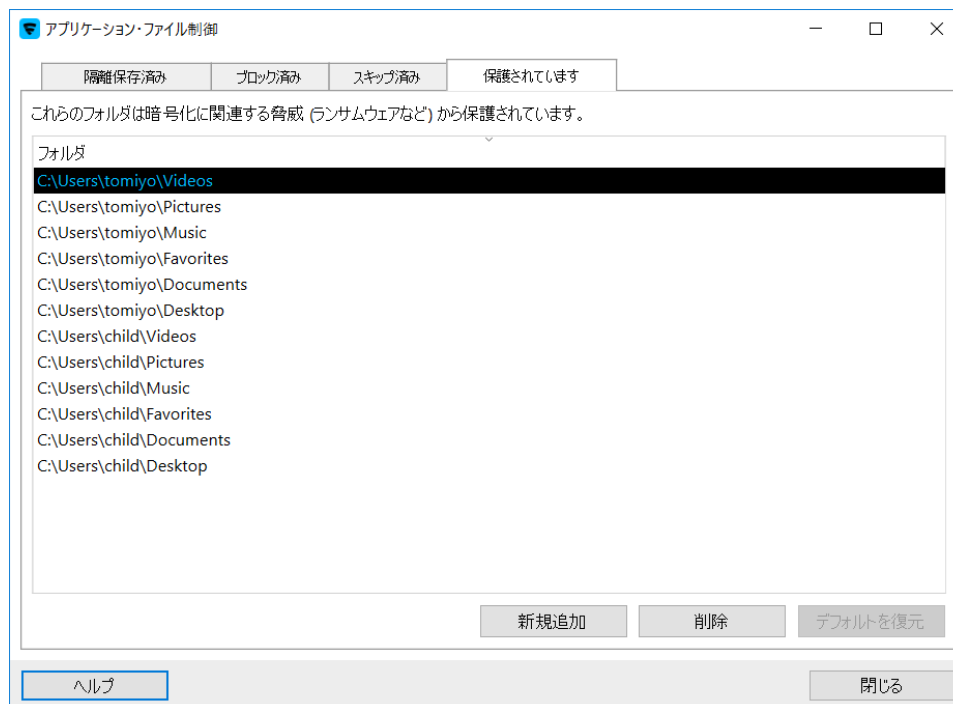


**④ アプリケーション・ファイル制御：スキップ済み**

スキャンから除外するファイルを指定できます。「新規追加」から対象のファイルを指定してください。

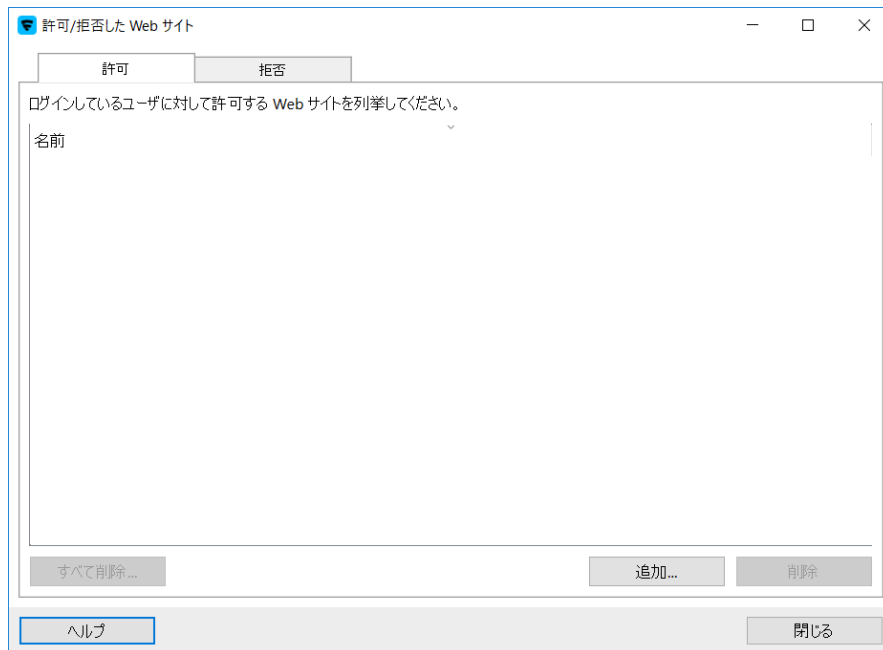
**⑤ アプリケーション・ファイル制御：保護されています**

ランサムウェアなどの脅威から保護するフォルダを指定できます。デフォルトで、ユーザーのドキュメントフォルダなどが登録されます。「新規追加」から任意のフォルダを追加することもできます。

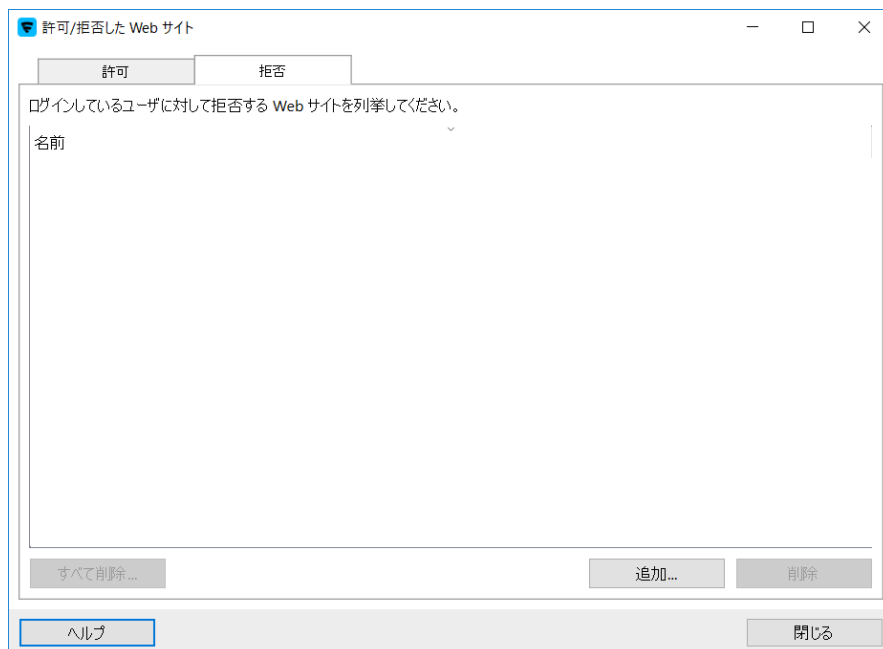


**⑥ 許可/拒否されたサイト : 許可**

許可する WEB サイトを指定できます。「追加」ボタンから対象の URL を指定してください。

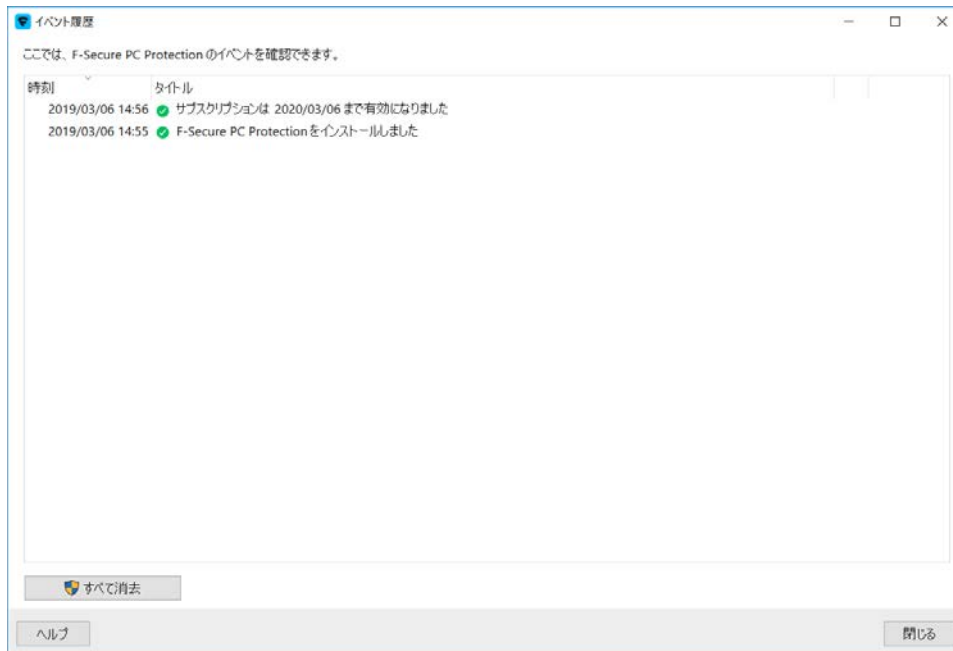
**⑦ 許可/拒否されたサイト : 拒否**

許可する WEB サイトを指定できます。「追加」ボタンから対象の URL を指定してください。



**⑧ 最近のイベント**

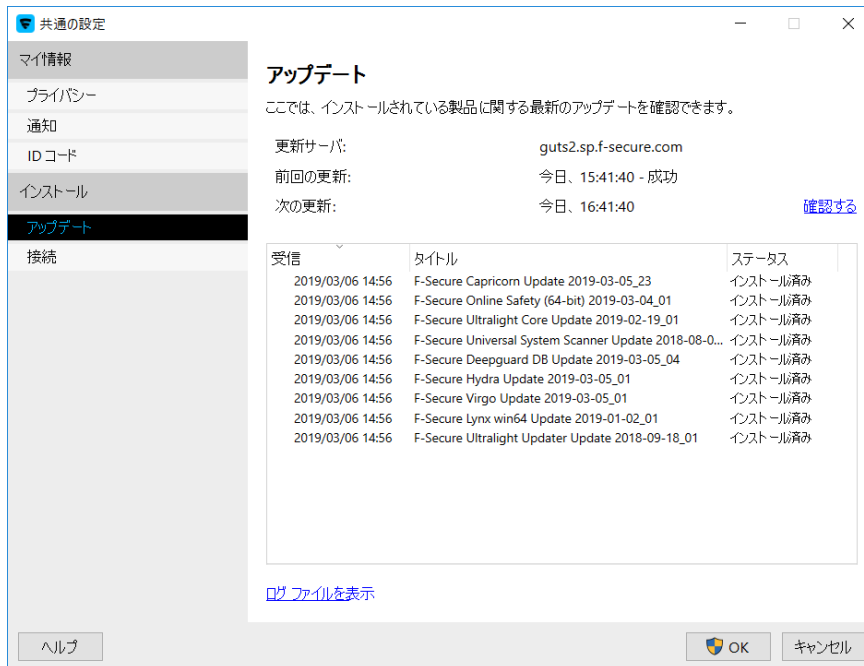
ウイルス検知やスキャンレポートを表示します。



## ⑨ 更新

「確認する」から、パターンファイルの更新を実行できます。

通常は自動で更新されるので、この機能を利用する必要はありませんが、パターンファイルの更新ができない場合等の切り分けにご利用頂けます。

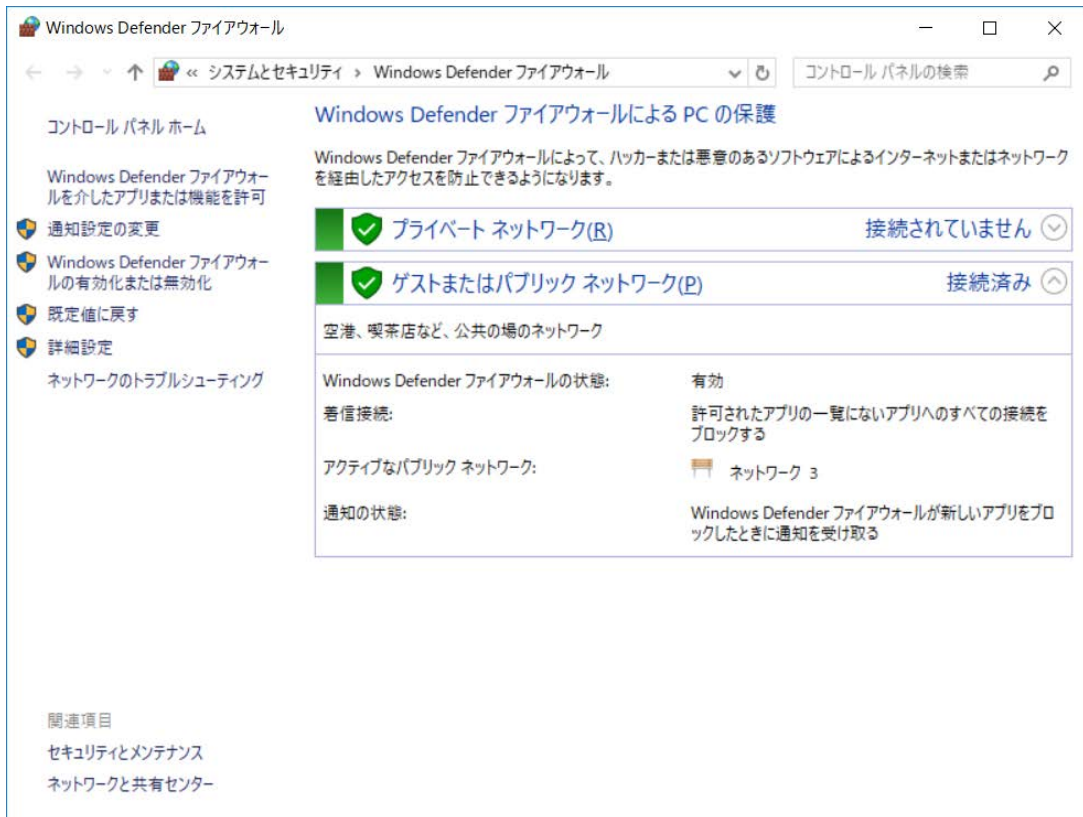


The screenshot shows the 'アップデート' (Updates) section of the F-Secure settings. It displays a list of updates with columns for '受信' (Received), 'タイトル' (Title), and 'ステータス' (Status). The status for all listed updates is 'インストール済み' (Installed).

受信	タイトル	ステータス
2019/03/06 14:56	F-Secure Capricorn Update 2019-03-05_23	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Online Safety (64-bit) 2019-03-04_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Ultralight Core Update 2019-02-19_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Universal System Scanner Update 2018-08-0...	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Deepguard DB Update 2019-03-05_04	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Hydra Update 2019-03-05_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Virgo Update 2019-03-05_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Lynx win64 Update 2019-01-02_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Ultralight Updater Update 2018-09-18_01	インストール済み

## ⑩ Windows ファイアウォールの設定

Windows OS 標準のファイアウォール設定画面が開いて、OS 側のファイアウォールの設定を変更できます。



The screenshot shows the Windows Defender Firewall settings window. The title bar reads "Windows Defender ファイアウォール". The breadcrumb navigation shows "システムとセキュリティ > Windows Defender ファイアウォール". The search bar contains "コントロール パネルの検索".

On the left sidebar, the following options are listed:

- コントロール パネル ホーム
- Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可
- 通知設定の変更
- Windows Defender ファイアウォールの有効化または無効化
- 既定値に戻す
- 詳細設定
- ネットワークのトラブルシューティング

The main content area is titled "Windows Defender ファイアウォールによる PC の保護". Below the title, there is a descriptive paragraph: "Windows Defender ファイアウォールによって、ハッカーまたは悪意のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由したアクセスを防止できるようになります。"

Two network profiles are shown:

- プライベート ネットワーク(R)**: 接続されていません (Down arrow)
- ゲストまたはパブリック ネットワーク(P)**: 接続済み (Up arrow)

Below the profiles, there is a section for "空港、喫茶店など、公共の場のネットワーク".

A summary table is displayed:

Windows Defender ファイアウォールの状態:	有効
着信接続:	許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続をブロックする
アクティブなパブリック ネットワーク:	ネットワーク 3
通知の状態:	Windows Defender ファイアウォールが新しいアプリをブロックしたときに通知を受け取る

At the bottom left, there is a "関連項目" (Related items) section with the following links:

- セキュリティとメンテナンス
- ネットワークと共有センター

⑪ すべてのセキュリティ機能を無効にする

トラブルシューティング時の切り分けの為に、一時的にすべてのセキュリティ機能を無効にすることができます。アンロードとも言います。アンロードした後は、デスクトップかシステムトレイ上の「F-Secure」アイコンをクリックすると有効化されます。



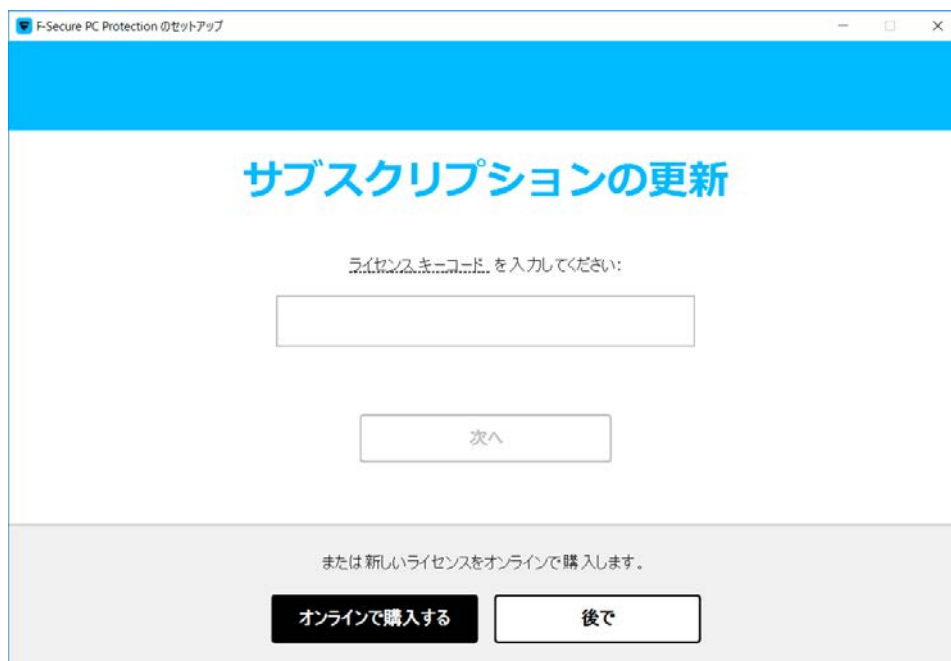
すべてのセキュリティ機能を無効にする

ウイルス スキャンなどのセキュリティ機能を無効にするとコンピュータが脅威にさらされる可能性が上がります。次回コンピュータを再起動するとき、またはメイン ページの [有効にする] ボタンをクリックするとセキュリティ機能が自動で有効になります。



### 3) サブスクリプションの管理

サブスクリプションの管理から、別のキーコードを入力できます。  
通常は使用しません。



#### 4) 「ヘルプ」メニュー

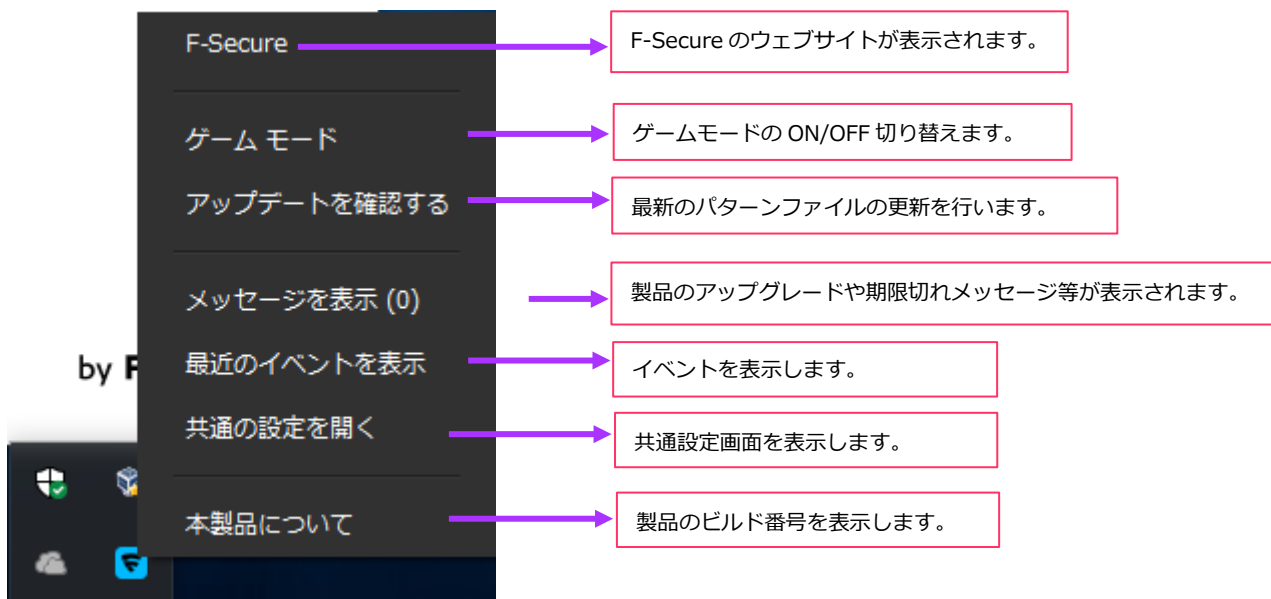
メイン画面の[?]をクリックするとメニューが表示されます。





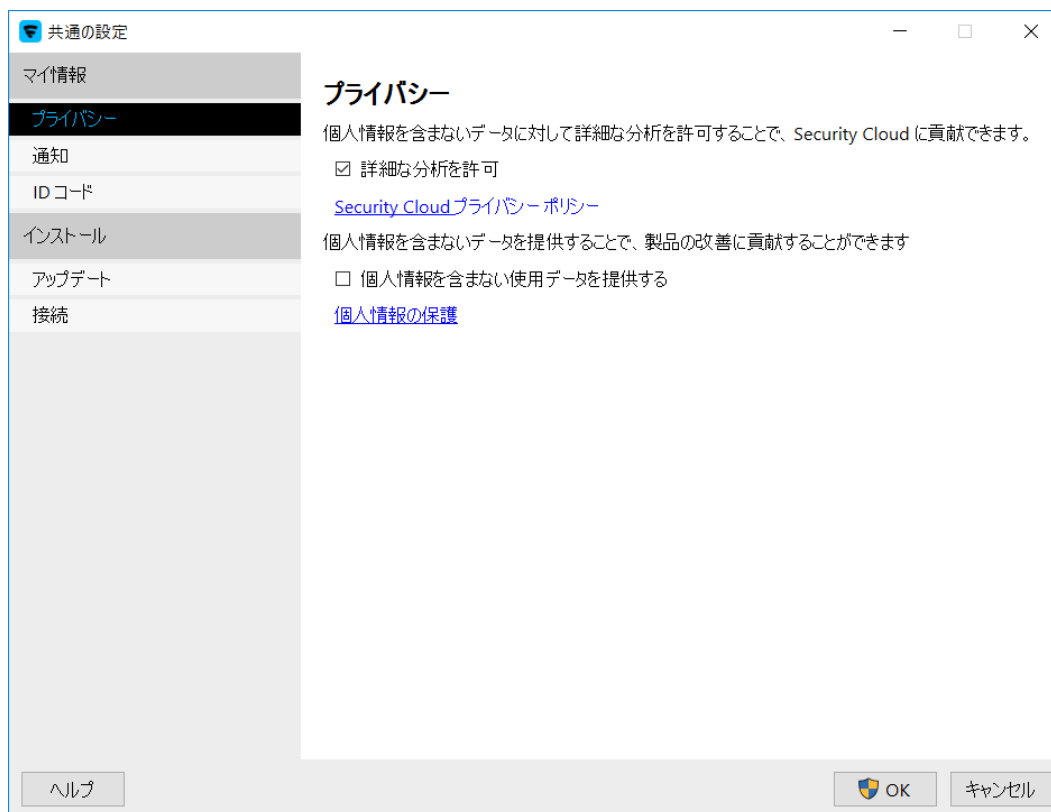
## 5) 「F-Secure」メニュー

システムトレイのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



### ① 共通の設定 : プライバシー

「プライバシー」をクリックすると、匿名データ提供についての許可/拒否の設定が変更できます。有効に参加した場合も、個人が特定される情報は送付されることはありません。



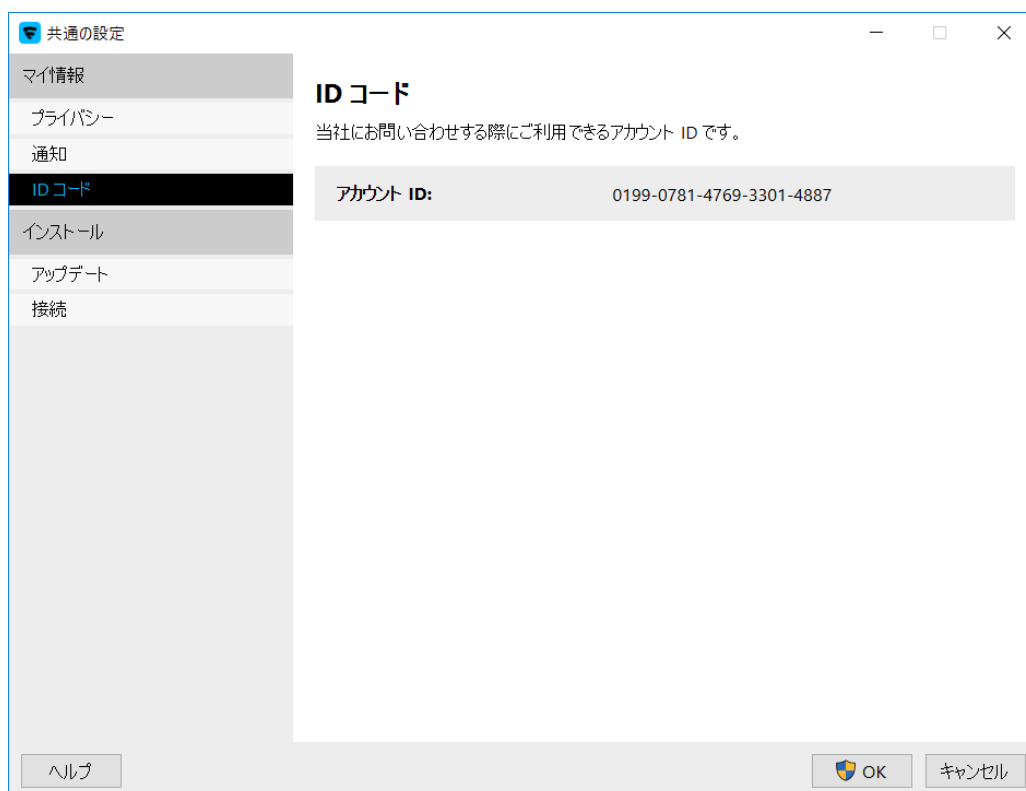
## ② 共通の設定：通知

ヒントや更新情報などの表示の有無を設定できます。無効に設定した場合も、重要な通知は常に表示されます。



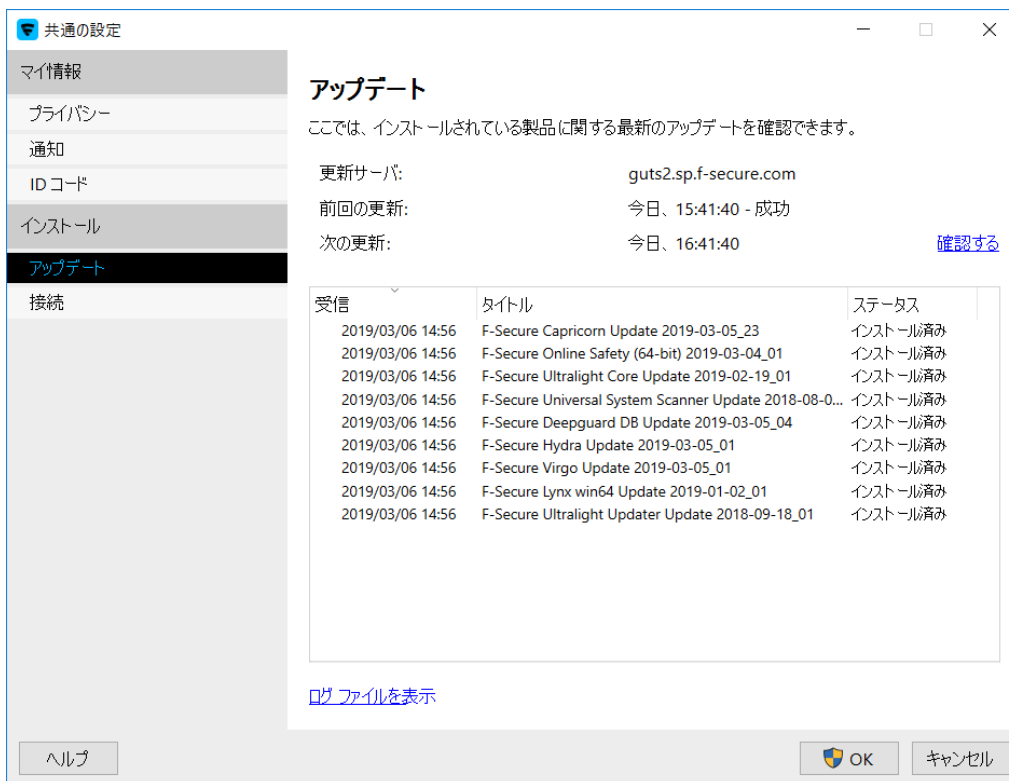
## ③ 共通の設定：IDコード

お客様に付与されたアカウント ID と、ご利用のデバイスのデバイス ID が表示されます。サポートセンターにお問い合わせ頂く際にご連絡ください。



## ④ 共通の設定 : アップデート

インストール製品のアップデート状況が確認できます。



共通の設定

マイ情報  
プライバシー  
通知  
IDコード  
インストール  
**アップデート**  
接続

### アップデート

ここでは、インストールされている製品に関する最新のアップデートを確認できます。

更新サーバ: guts2.sp.f-secure.com  
前回の更新: 今日、15:41:40 - 成功  
次の更新: 今日、16:41:40 [確認する](#)

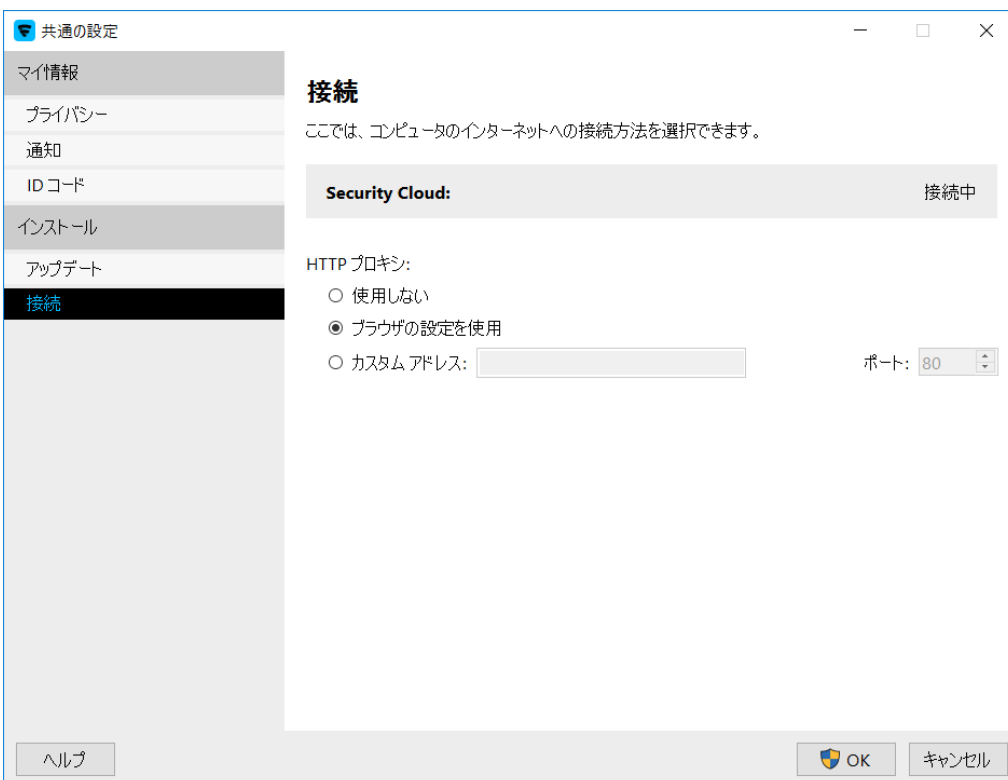
受信	タイトル	ステータス
2019/03/06 14:56	F-Secure Capricorn Update 2019-03-05_23	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Online Safety (64-bit) 2019-03-04_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Ultralight Core Update 2019-02-19_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Universal System Scanner Update 2018-08-0...	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Deepguard DB Update 2019-03-05_04	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Hydra Update 2019-03-05_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Virgo Update 2019-03-05_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Lynx win64 Update 2019-01-02_01	インストール済み
2019/03/06 14:56	F-Secure Ultralight Updater Update 2018-09-18_01	インストール済み

[ログファイルを表示](#)

ヘルプ OK キャンセル

## ⑤ 共通の設定 : 接続

インターネットへの接続方法を設定できます。常時接続環境であれば特に設定変更の必要はありません。プロキシを利用する必要がある場合も、基本的にはブラウザの設定を参照する設定（デフォルト設定）で問題ありません。



共通の設定

マイ情報  
プライバシー  
通知  
IDコード  
インストール  
アップデート  
**接続**

### 接続

ここでは、コンピュータのインターネットへの接続方法を選択できます。

**Security Cloud:** 接続中

HTTP プロキシ:

使用しない  
 ブラウザの設定を使用  
 カスタム アドレス:  ポート: 80

ヘルプ OK キャンセル

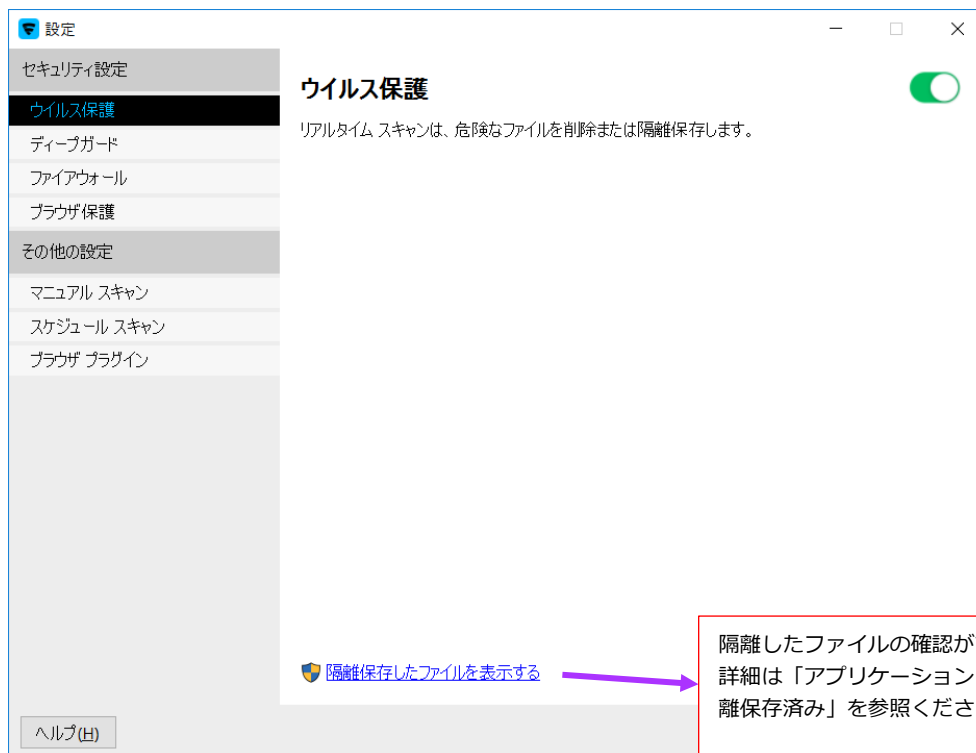
## 6) メイン画面の設定

同画面は上級者用のメニューとなっており、通常、使用する必要はありません。基本的には、特定の環境での使用や、アプリケーションとの競合を避ける目的で、幾つかの機能を無効化したり、トラブルシューティング時に切り分けに用いられったりするものと理解ください。[設定]をクリックすると詳細設定画面が表示されます。



① 設定 : ウイルス保護

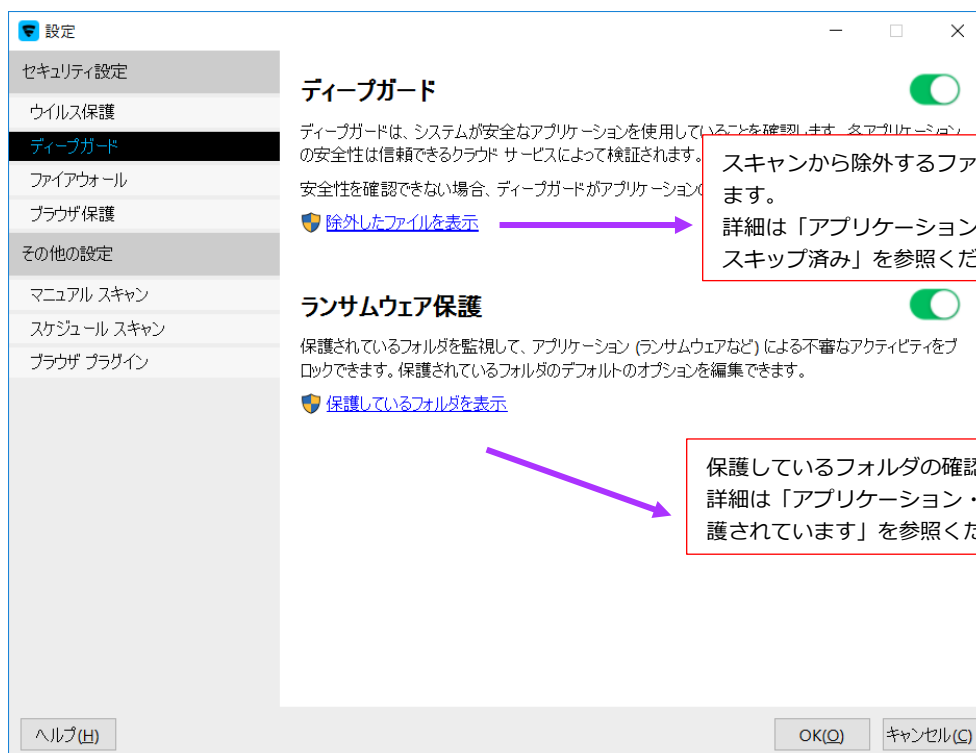
リアルタイムスキャンの設定を行えます。



隔離したファイルの確認ができます。  
詳細は「アプリケーション・ファイル制御：隔離保存済み」を参照ください。

② 設定 : ディープガード

③ 未知のウイルス対策機能である、ディープガードの設定を変更できます。

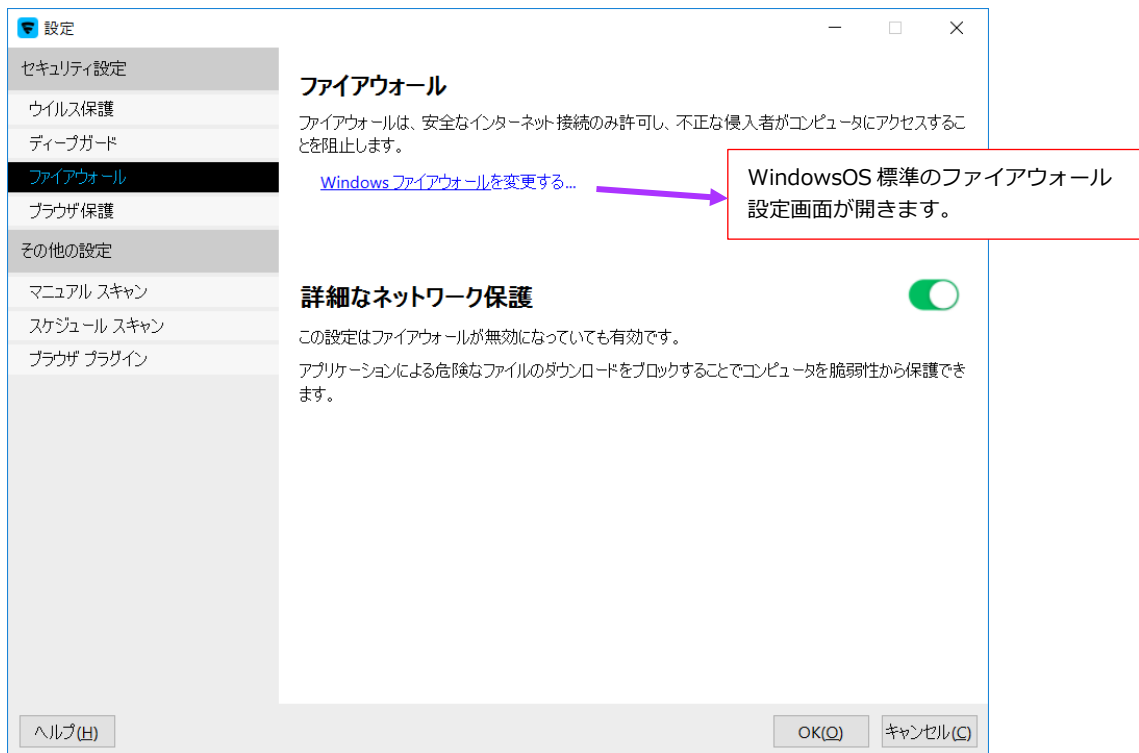


スキャンから除外するファイルの確認ができます。  
詳細は「アプリケーション・ファイル制御：スキップ済み」を参照ください。

保護しているフォルダの確認ができます。  
詳細は「アプリケーション・ファイル制御：保護されています」を参照ください。

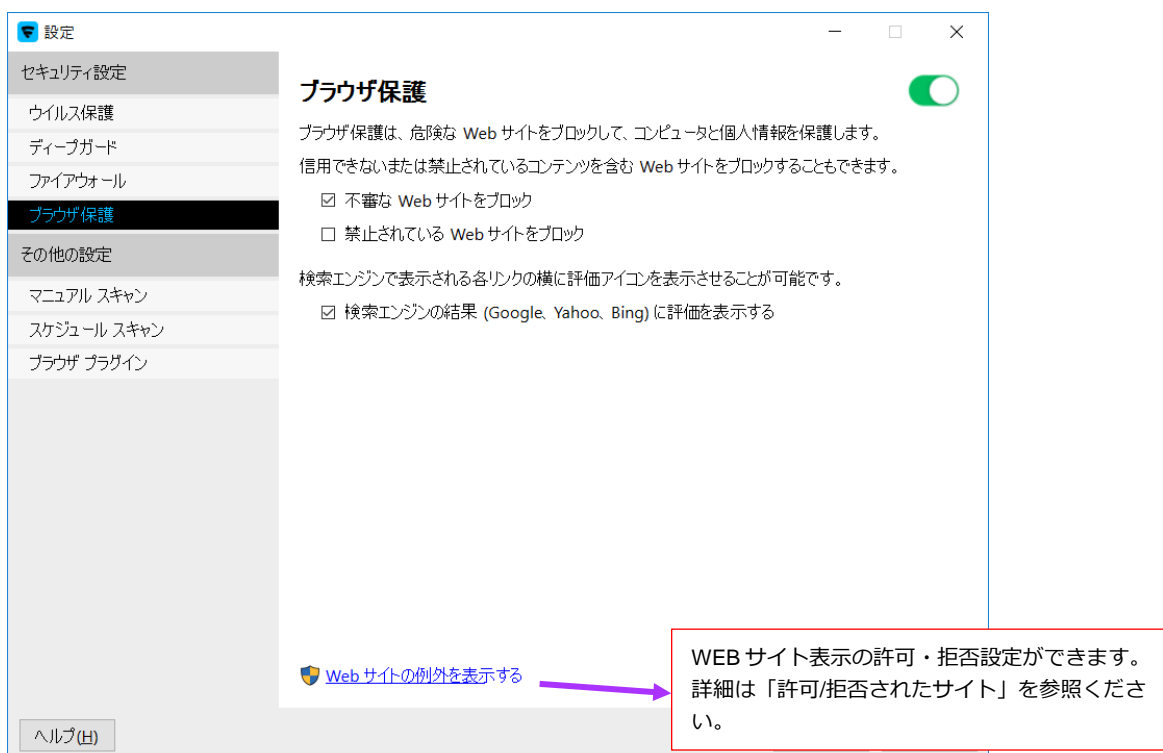
#### ④ 設定 : ファイアウォール

ファイアウォールの設定を変更できます。



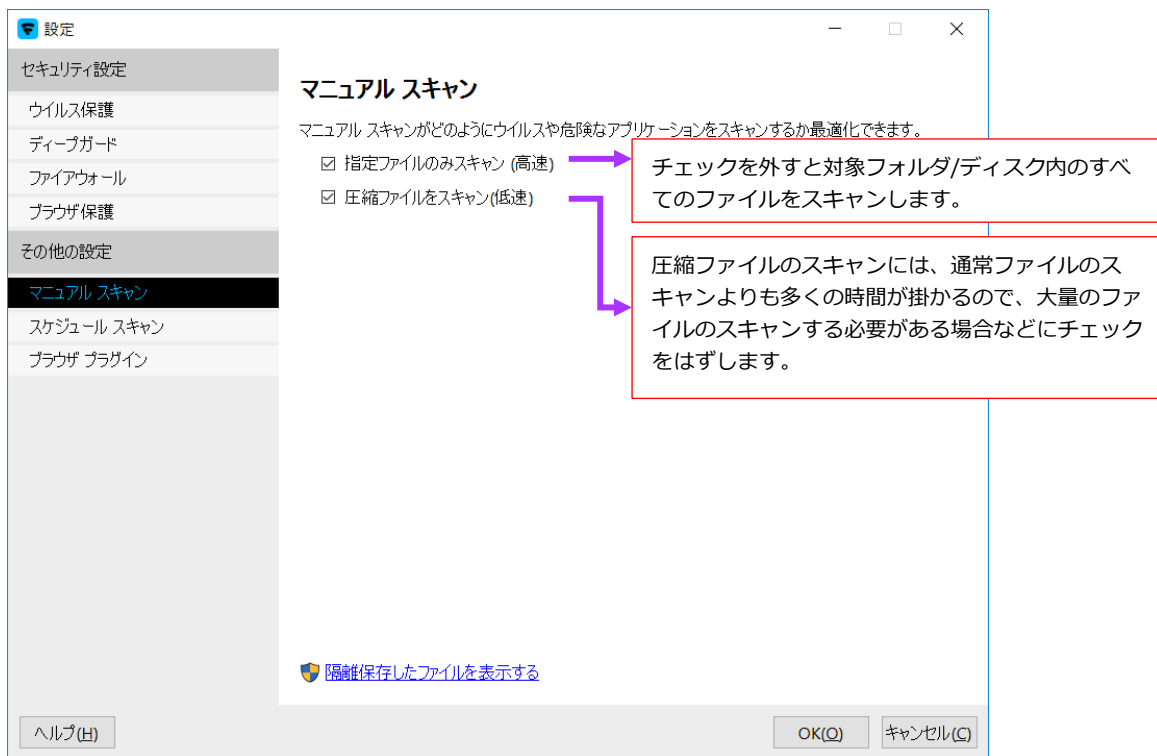
#### ⑤ 設定 : ブラウザ保護

ブラウザ保護の設定を変更できます。



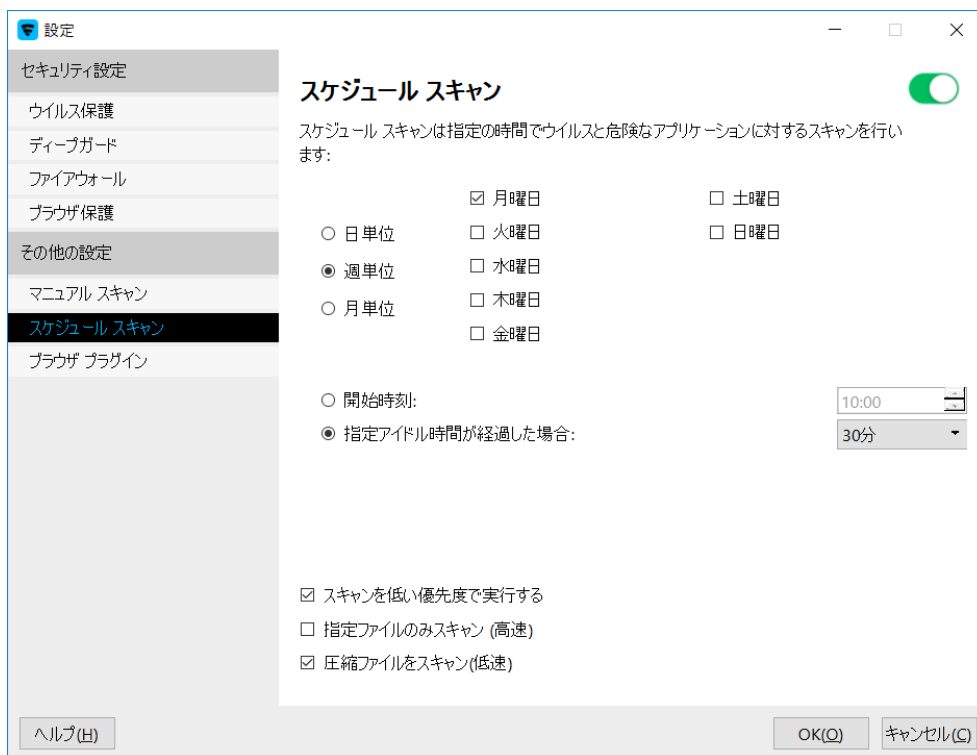
⑥ 設定：マニュアルスキャン

マニュアルスキャンの設定を変更できます。



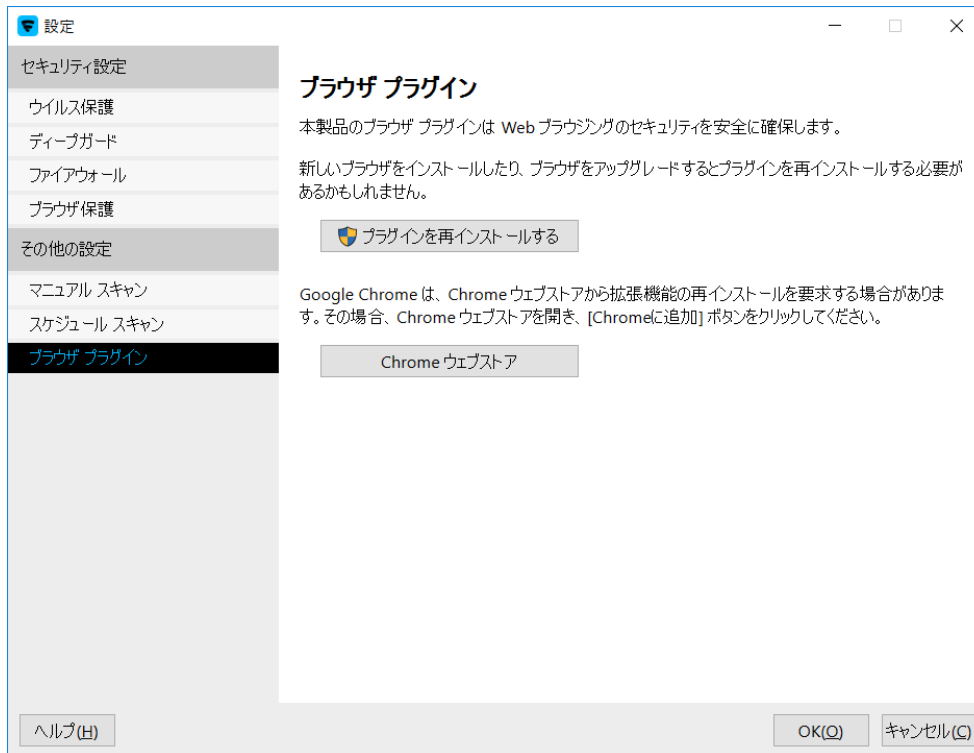
⑦ 設定：スケジュールスキャン

日時を指定して、マニュアルスキャンを実行することができます。



## ⑧ 設定 : ブラウザプラグイン

ブラウザプラグインの再インストールを行えます。





## 2.2 ペアレンタルコントロール

### 1) 「ペアレンタルコントロール」メイン画面

メイン画面から[ペアレンタルコントロール]をクリックします。



初めて[ペアレンタルコントロール]を立ち上げた時には下記画面が表示されます。「有効にする」をクリックします。



「はい」をクリックして[ペアレンタルコントロール]を有効にします。



[ペアレンタルコントロール]のメイン画面が表示されます。



「設定から変更できます。」をクリックして、設定変更画面を表示します。

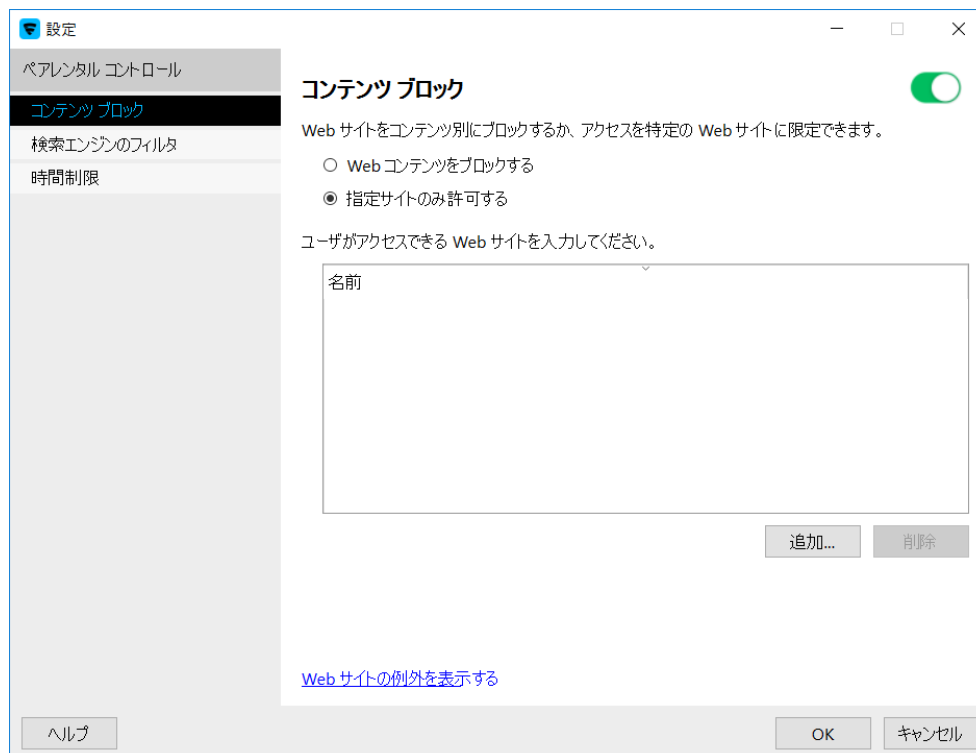


**① 設定 : コンテンツブロック**

カテゴリごとに WEB サイトの表示をブロックできます。

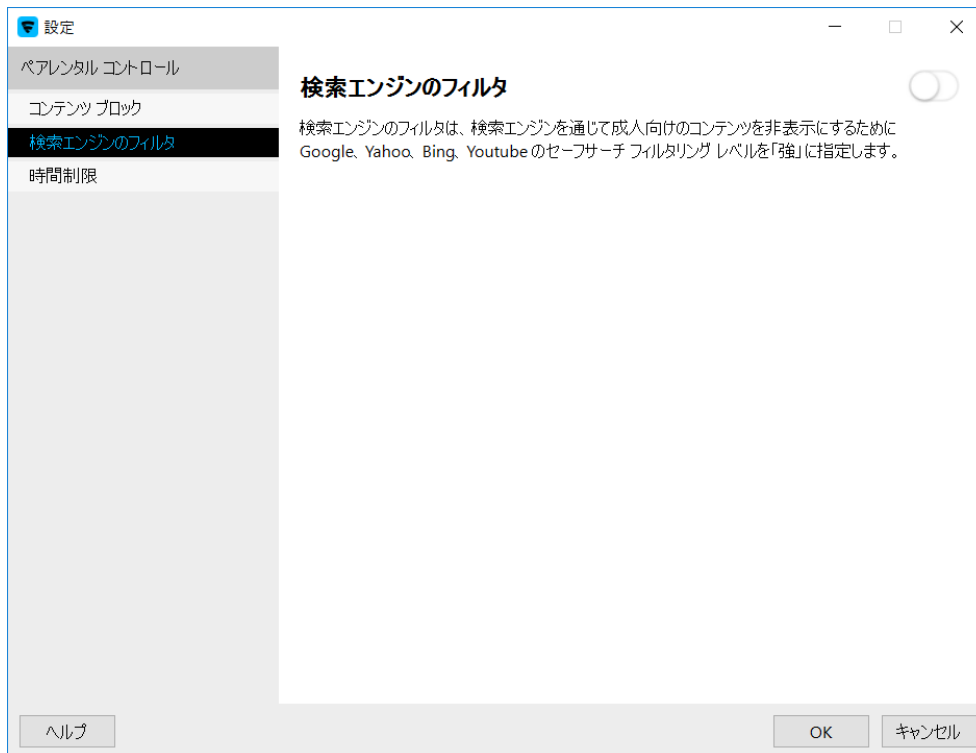
**② 設定 : コンテンツブロック**

指定した WEB サイトのみ表示を許可することができます。



③ 設定：検索エンジンのフィルタ

検索エンジンのフィルタリングレベルを変更できます。



④ 設定：時間制限

コンピュータの使用やインターネットへの接続時間を制限できます。

